

2025



Global Liberal Arts Program

グローバル・リベラルアーツ・プログラム



リベラルアーツを学び、世界と共に生きる

新しいグローバルリーダーへ。



立教大学

国や地域を超えて 人々と互いに協力し合い 世界のために行動を起こすことができる 新しいグローバルリーダーを

立教大学から世界へ

世界は、大きく変化しています。

グローバル化の進展に伴って、さまざまな文化や価値観が国境を越え、

新たな対立さえ生み出し、未来も不透明になっています。

こうした時代にあって、これからの社会を生き抜く力を育成することは、大学の重要な役割です。

立教大学は、創立以来、キリスト教に基づく教育とリベラルアーツの理念を礎に、

真の国際人を育成する教育を進めてきました。

そして、この理念をさらに進め、自ら考え、行動し、

世界と共に生きるグローバルリーダーの育成を目的とし

「Global Liberal Arts Program (GLAP)」は、2017 年 4 月にスタートしました。

自由に学問を探究するリベラルアーツの精神は、

さまざまな課題に向き合う思考力や変革力、

さらに異なる価値観を持つ人々と共に生きる力を養います。

それは、混迷する現代、そして未来にこそ必要な学びです。

さあ、Global Liberal Arts Program で共に学び、世界をフィールドに活躍しましょう。

Global Liberal Arts Program

立教大学グローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP) は、今日のグローバル社会をリードする人材を育成するため、2017年に誕生した先進的なプログラムです。国や地域のボーダレス化が進み、複雑化する社会で生じるさまざまな課題を解決するためには、1つの狭い知にとらわれない自由な精神、そして世界であまねく用いられる英語を用いて多様な人々とともに生きていく覚悟、そして複眼的な視点で物事を判断する柔軟な態度が求められます。リベラルアーツとは、古くよりヨーロッパにおいて形成されてきた考え方で、世界を認識するために必要な学問を指します。これは、古くは自由七科(文法学・修辞学・論理学、そして算術・幾何学・天文学・音楽)を指すものでした。もちろん、われわれが今日の複雑化したこの世界を認識するためには、以上の科目で足りるものではなく、哲学、歴史学、社会学、経済学、経営学等、世界を認識するための諸学問を含め、現代的にこれを再構成する必要があります。また、この認識を深めるためには、「何」を学ぶかのみならず、「どう」これを学ぶのが大切になってきます。GLAPでは、少人数の授業の中で徹底的に討論し、自分の考え方を鍛え上げ、自らの言葉で発信することを重視しています。そのような再構成を行う中で、われわれが皆さんの力について考えていることは次のことです。どうすれば世界を認識する力を高めることができるか。どうすれば世界に意味を与えていく力を

獲得できるか。そして、どうすれば世界に影響を与えていくことができるようになるかです。言うまでもなく、このような能力の獲得を目指す教育は、古くからのリベラルアーツ教育の伝統からいささかも逸脱するものではありません。そして、リベラルアーツ教育を以上のように考えた場合、グローバル — 英語を学び、そして英語で学ぶこと — の要素は、その欠くべからざる要素です。現代において普遍語としての性格を有する英語を用いて学ぶことにより、日本語によって学んだだけでは得られない世界が開かれ、その世界に働きかけていくことができると信じて、このプログラムは構成されています。皆さんが、このプログラムにおける学修を通じて身に付けた力は、10年経っても、20年経っても陳腐化しない「本当の」力となるものだと思っています。皆さんがGLAPで学び、自分の進むべき方向を見出し、この社会に立派に巣立っていくことを楽しみにしています。



グローバル・リベラルアーツ・プログラム (GLAP)
運営センター
センター長 松井 秀征



Global Liberal Arts Program (GLAP) の特長

英語で学ぶ | 世界を視野に、リベラルアーツを英語で学ぶ

Global Liberal Arts Programとは、入学時から4年間所属する、原則英語のみで学位の取得が可能なコースです。リベラルアーツは、自由に学問を探究し、視野を広げ、さまざまなものの考え方を理解する学びで、立教大学の教育の特長的なものです。Global Liberal Arts Programでは、リベラルアーツを英語で学び、日本にいながら常に「世界」を意識できる環境に身を置くことができます。特定の分野に特化した学修ではなく、複数の分野にわたって学ぶため、多様なものの見方・考え方を養うことができ、グローバル化が加速する社会において最も重要な、世界の人々と理解し合いながら協働する力を養うことにつながります。Global Liberal Arts Programでの学びや経験を通じて、英語によるコミュニケーション力、思考力、表現力など、実践的な英語力や卒業後に広く世界で活躍できる力を身に付けることができます。

少人数教育 | 主体的に行動する意識が芽生える

Global Liberal Arts Programは1学年の人数が30名と教員との距離が非常に近く、学生一人一人がきめ細かな指導を受けることができる教育環境が整っています。1年次には最大5名という極めて少人数で導入教育の「Tutorial」を行います。学生が自ら積極的に学修に取り組めるよう、文献講読やエッセイ・ライティング、ディスカッション、プレゼンテーションなどのスキル、クリティカル・シンキングやアカデミック・ライティングなど、論理的思考の基盤となる力を身に付けます。また、グループワークとプロジェクト型学習を通じてリーダーシップスキルを育てる、立教大学独自のリーダーシップ教育により、学生同士が学び合うと同時に、一人一人が世界の課題に当事者意識を持ち、メンバーと協働して課題解決を図る力を身に付けていきます。さまざまな考えを持つ学生や留学生と共に課題に取り組む中で、自分を高め続ける意識が芽生え、世界と共に生きるグローバルリーダーへと成長していきます。

1年間の海外留学 | 海外でリベラルアーツの真髄を学ぶ貴重な経験

2年次秋学期から3年次春学期にかけての1年間、全員が海外の協定校に留学します。協定校はいずれも厳選したリベラルアーツ教育を重視している大学です。留学にあたっては、アカデミックアドバイザーと連携し、履修状況なども考慮して、留学先や履修科目を検討します。日本とは異なる環境で、多様な文化や習慣に触れ、他者と共に学ぶことは、自らの新しい可能性を発見すること、英語によるコミュニケーション能力を向上させること、そして国境を越えた幅広い人的ネットワークを形成することにもつながります。

帰国後の専門教育 | 視野を広げ経験を重ねた上で、より深く学ぶ分野を選択

留学からの帰国後、引き続き、複数の分野にわたる科目を履修しながら、より広い視野を身に付けていきます。同時に、1年次からの学びや留学経験などを経て、自らが特に興味や関心を持った領域について、「Humanities」「Citizenship」「Business」の3分野から1つを選択し、より深く学びます。4年次には、4年間の学びの集大成として、「Final Year Seminar」を履修して卒業論文の執筆に取り組みます。

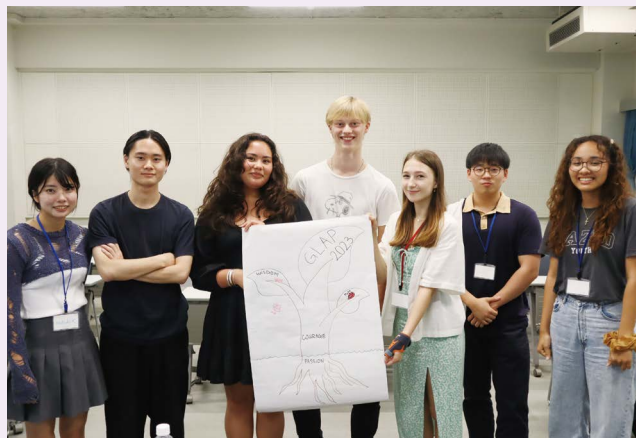
留学生との寮生活 | 寮生活を通して国際感覚を養う

留学先での寮生活を視野に入れ、国際交流寮で生活することができます。自立した生活を行い、留学への意思を高め、留学の目的を明確にしていきます。寮では留学生も一緒に生活するため、多様なバックボーンを持ち、国籍や文化、価値観の異なる人々と共同生活を行うという、貴重な経験を重ねていきます。寮で生活する時間が、国際性を育み、グローバルな感覚を磨いていく。それは、2年次秋学期からの留学をより有意義なものにする貴重な経験となります。

少人数だから 一人一人が主役で輝ける GLAP



多様な環境だから 国際感覚を磨くことができる GLAP



GLAP には、日本全国や海外にまたがる多様なバックグラウンドを持つ教員や学生が集まっています。さらに 2022 年 9 月からは、世界のさまざまな国や地域からの多様な文化的背景を持つ外国人留学生の受け入れもスタートしました。入学時点から、国際的な環境で学習し、生活することで、多様な価値観を身に付け、世界で活躍できる力を養います。

DATAで見る GLAP

2023年度



[入学定員:専任教員比率]

6:1



[在学生の英語スコア]

IELTS
5.5～8.5



[平均クラス人数]

10名
※最少5名



[アクティブラーニング:講義比率※]

7:3
※授業時間比率



[立教大学の留学生数]

900⁺
(2023年10月現在)



[立教大学図書館蔵書数]

2,025,000⁺
(2022年度)



Global Liberal Arts Program (GLAP)

カリキュラム

新しいグローバルリーダーへ

新しいグローバルリーダーとして活躍するために、入学から卒業まで、さまざまな学びや経験を積み重ねていきます。留学前に Humanities、Citizenship、Business 分野を中心に幅広く学び、帰国後は、上の3分野から1つを選択し、その分野を中心に学びを深め、卒業論文を執筆します。

カリキュラム体系図

年次	学期	学修期		必修科目						選択科目			自由科目	正課外			
4年次	8	③ 完成期 各自の興味や関心のある分野を専門的に学ぶ						Final Year Seminar 2	Graduation Paper	Global Studies Electives - Humanities - Citizenship - Business	English Liberal Arts (ELA) 科目	さまざまな分野から学び、視野を広げます		Student Assistant (SA)活動			
	7							Final Year Seminar 1									
3年次	6	② 形成期		留学期	Study Abroad 1・2						夏季短期集中プログラム科目						
	5																
2年次	4	明確な目標をもってさまざまな学びから自己実現につながる知識を習得する			最大5名で基礎的アカデミックスキルを学びます						GL202	Second Year Seminar		Global Studies Essentials	English Liberal Arts (ELA) 科目		
	3																
1年次	2	① 導入期 思考力とその基盤となる知識を習得する			全学共通科目 言語系科目		Liberal Arts in Higher Education	Tutorial 2	GL111	留学前に3つの選択分野全ての特徴を学び、留学後に3分野から1つを選択し、学びを深める						留学準備 ・海外協定校との交流行事 ・留学生とのふれあい ・寮生活	
	1							Tutorial 1									

開講科目一覧

<div>■ 学びの精神</div> <div>・Liberal Arts in Higher Education</div>	<div>■ 海外留学研修</div> <div>・Study Abroad 1 ・Study Abroad 2</div>	<div>■ 全学共通科目言語系科目</div> <div>・英語 ・初習言語*</div> <div>[以下の言語の中から1言語を選択] ドイツ語、フランス語、スペイン語、 中国語、朝鮮語、ロシア語、日本語</div> <div>*初習言語は日本語を用いて学習します。 ただし、日本語選択者は英語を用いて日本語を学習します。</div>	<div>■ Global Studies</div> <div>・Global Studies Pre-Seminar ・Cross-Fields Research</div> <div><Humanities> ● Global Studies Essentials ・Globalism and Humanities ● Global Studies Electives ・Humanities First Seminar ・Christianity in Japan ・Japanese Literature in the World ・Japan in Asian Context ・Rethinking European Literatures ・Traditional Arts in Japan ・Postmodern Turn in Japanese Arts ・Development of Gender Studies ・Intellectual History of Japan ・Seminar in Literature and Culture Studies 1 ・Seminar in Literature and Culture Studies 2 ・Seminar in Literature and Culture Studies 3 ・Seminar in Literature and Culture Studies 4 ・Seminar in Literature and Culture Studies 5 ・Seminar in Literature and Culture Studies 6</div>	<div><Citizenship> ● Global Studies Essentials ・Citizenship Education ● Global Studies Electives ・Citizenship First Seminar ・Principles of Sociology ・Global Sociology ・Global City ・Gender/Minority Studies ・International Relations ・UN and International Organizations ・Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities ・Area Studies – Africa, Islam and Asia ・Sociological Studies A ・Sociological Studies B ・Sociological Studies C ・Sociological Studies D ・Sociology of Gender A ・Cultural Anthropology A</div>	<div><Business> ● Global Studies Essentials ・International Business ● Global Studies Electives ・Business First Seminar ・Business and Society ・Introduction to Finance ・Introduction to Accounting ・Introduction to Marketing ・Corporate Finance and Valuation ・Financial Statement Analysis ・Marketing Research ・Advanced Business Project ・Business Communication ・Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market ・Intercultural Business Management ・Global Innovation Management ・International Human Resource Management ・Global Strategic Management ・Marketing Positioning Strategy</div>
<div>■ 演習系科目</div> <div>・Tutorial 1(学びの技法) ・Tutorial 2(学びの技法) ・Second Year Seminar ・Final Year Seminar 1 ・Final Year Seminar 2</div>	<div>■ GLAP夏季短期集中プログラム科目</div> <div>・University Education in the World ・University in Modern Society ・Career and University Education in the Global World</div>	<div>■ 自由科目</div> <div>科目名は省略</div>			
<div>■ Graduation Paper</div>	<div>■ 英語リベラルアーツ(ELA)科目</div> <div>・World History ・Culture and Fine Arts ・Political Sociology ・Nature of the Earth ・Literature and Society ・Economic Thought ・Health and Wellness</div>	<div>・Topics in Environment ・Topics in Natural Science ・Topics in Humanities and Arts ・Career Planning ・GLAP Special Seminar 1 ・GLAP Special Seminar 2</div>			
<div>■ GLP基礎科目</div> <div>・GL111 ・GL202</div>					



2024年度 開講科目担当教員

<div>■Keaveny, Christopher</div> <div>Tutorial 1・2, Graduation Paper, Literature and Society, Topics in Humanities and Arts, Globalism and Humanities, Humanities First Seminar, Intellectual History of Japan</div>	<div>■Mellet, Xavier</div> <div>Tutorial 1・2, Graduation Paper, Political Sociology, Cross-Fields Research, Citizenship Education, Citizenship First Seminar, Principles of Sociology</div>	<div>■中込 さやか</div> <div>Liberal Arts in Higher Education, Tutorial 1・2, Second Year Seminar, Final Year Seminar 1・2, Study Abroad 1・2, Global Studies Pre-Seminar</div>	<div>■大橋 里見</div> <div>Tutorial 1・2, Second Year Seminar, Final Year Seminar 1・2, Study Abroad 1・2, Culture and Fine Arts, Global Studies Pre-Seminar</div>
--	---	---	---

■Abu-Dari, Mazen Musa Moh'd ■Carrasco Lara, Alberto ■Choi, Hee Young ■Gorshkov, Victor ■Haejun, Jeon ■Hallman, Francis Candler ■Handika, Rangga ■Kaneta, Tereza Cazumi ■Knight, Kevin Robert ■Lee, Minjoo ■Marquez, Loren ■Mignon, Edward Taylor ■Nazzicone, Maria Joelle Rimas ■Park, Chris Hyunkyu ■Reisel, Mary ■Sayers, Brian ■Schwemmer, Patrick Reinhart ■Vinitphol, Rujirat ■Witkam, Frank ■顧 俊堅 ■池淵 万季 ■小林 潤司 ■三谷 純子 ■水島 淳 ■新嶋 良恵 ■二ノ宮リムさち ■寺田 悠紀 ■寺中 誠 ほか

Tutorial

Tutorial 1・2 は最大 5 名の極めて少人数のゼミ形式で行われる授業で、GLAP の学修の核といえるものです。授業は 1 年次の春学期と秋学期に週 1 コマずつ開講され、批判的リーディング、アカデミック・ライティング、プレゼンテーション、質疑応答などの学習によって、大学での学びの基礎力を総合的に高める狙いがあります。

授業では、各学期に 2 冊の英語文献（人文・社会科学の分野などから選定）を読み進めていきます。学生は各授業前に指定された範囲の文献を講読し、報告担当者はそれに基づいたプレゼンテーションと要約を準備します。毎回の授業では、報告担当者のプレゼンテーションの後、教員と学生で内容確認とディスカッションを行います。そして、文献を読み終えるごとにリサーチ・クエスションにもとづく分析的エッセイを執筆します。

Tutorial 1・2 では、予習・復習にきちんと取り組み、積極的に授業参加を行うなど、学生自らが英語をツールとして用いた総合的学修を行うことを目指しています。担当教員からのサポートも手厚く、教員学生間の密なやりとりから刺激を受けることができます。慣れないうちは授業についていくことが大変な場合もありますが、学生にとって、やりがいのある授業となっています。



少人数での活発なディスカッション

GL111(Global Leadership Program)

Global Leadership 111（GL111）の授業は、一人一人が異なるリーダーシップを理解し、学生同士で実践を通して伸ばし合う授業です。授業には、GLAP の学生に加えて海外からの交換留学生や、他学部が学生が集まります。この多様性豊かな環境において、チームで目標に向かって働きかけるプロセスを実践することで、世界のどこでも、誰とでも、協働し、新たな価値を生むことにつながるリーダーシップを磨きます。

テーマは、現実の世界で企業や団体が実際に抱えている問題や課題の解決です。授業では、問題の解決に向けて、問題を取り巻く人々を洞察し、効果的な目標や戦略を考え、その実現のために、新たな施策を実践することに、少人数のチームで取り組みます。その際、「目標共有」、「率先垂範」、「同僚支援・環境整備」というリーダーシップ最少三要素を意識しながらそれぞれが考えるリーダーシップ実践を重ね、目に見えにくいリーダーシップを体系的に磨くことができます。また、初めて出会った人たちとチームワークに取り組むため、成功も失敗もたくさん体験することがあります。Global Leadership Program（GLP）では、その体験をチームメンバー全員で振り返り、チームのことだけではなく、お互いに率直にフィードバックを贈り合います。それは他者の視点も取り入れて、自分自身を振り返り、更なる理解を深め、新たな行動を考える機会となり、一人一人異なるリーダーシップを磨くことに繋がります。このような授業での取り組みは、学生生活はもちろん、社会に出てからも生きる大きな力となります。その達成のために、教員・学生アシスタント（SA）・事務職員が一つのチームとなって、GL111 とその後に続く GLP 科目を通して、みなさんのリーダーシップ開発に伴走し支援していきます。

身近な相談役！ アカデミックアドバイザー

少人数教育を実践する GLAP では、アカデミックアドバイザーが、学生ひとりひとりに対して履修相談や中間面談などを毎学期実施し、きめ細やかなサポートを行っています。普段の学修面の相談、留学先の履修科目の相談など、入学直後から日常的に和やかな雰囲気の中で相談できるほか、留学中も毎月提出する課題レポートを通してアカデミックアドバイザーと密にコミュニケーションをとることができます。「大学生活の中でさまざまなことを相談できる身近な先生」それが GLAP のアカデミックアドバイザーです。3 年次の専門分野選択後は、それぞれの分野のサプのアカデミックアドバイザーにも専門的な学修について相談できます。



鈴木 日菜（2023 年入学）

※内容は取材時点のものです。

留学から帰国後、それまでの学修・留学をととして特に興味や関心をもった分野を Global Studies の 3 分野、Humanities、Citizenship、Business から 1 つ選択し、専門知識と考え方に対する学びを深めます。

3 年次の専門分野選択後には、Global Studies の学びを深める重要科目として各分野で展開される「First Seminar」を履修します。

専門性とは何かを知り、専門分野で研究を進めるために必要な視点、理論、アプローチなどを学びます。

4 年次には、自らテーマを設定し、Graduation Paper を 1 年かけて執筆し、発表します。

これは、選択した分野の専門知識や思考に加え、それまでに培ったさまざまな分野の知識や多角的な視点を有機的に融合させた集大成となります。



私は海外経験がなく、入学当初は GLAP の英語環境に少し不安がありました。しかし、毎学期に行われるアカデミックアドバイザーとの面談にて、授業に関するさまざまなことを相談ができ、親身になって話を聞いていただけるので、今は安心して大学生生活を送れています。アカデミックアドバイザーの先生は日本語・英語ともに流ちょうなので、面談の時間は日本語で気負わずにお話していただけるのもありがたいです。2 年次の秋学期からいよいよ留学が始まりますが、留学前・留学中・留学後と一貫してサポートしてもらえるのはとても心強いですし、いつでも頼れる人がいると思うと初めての海外生活も乗り越えられそうです。学業だけでなく、大学生生活のさまざまなことを相談できるアカデミックアドバイザーは私にとって心の支えであり、GLAP の魅力だと感じています。

GLAP生のキャンパスライフ

たくさんの人から刺激を受け 充実した学生生活

沖縄県
沖縄県立球陽高等学校
2023年入学 チェスター チェルシー セリ

広い視点で社会を見るための教養

高校ではマイクロプラスチックとアニマルウェルフェアについて研究していました。周囲からは理系に進むと思われていて、そう考えていた時期もありましたが、畜産を通して社会問題に触れていく中で新しい技術を開発する側ではなく、それをどのように生活に応用していけるのかを考える立場の人間になりたいと思うようになりました。特に豚コレラで大量の豚が殺処分された際に獣医の話聞く機会があり、その時に私たちには見えていない役割や仕事がある中にはたくさんあるのだと気がしました。専門的な研究だけでは救えないものがあることを痛感し、総合的に最適な判断ができるようになるためには、多角的な視点や知識が必要だと感じ、教養を学びたいと思うようになりました。他の大学にもリベラルアーツが学べる学部はありましたが、1 学年 30 名程度という少人数の環境は GLAP だけでした。また、オープンキャンパスのイベントで GLAP の教授が学生と同じ目線でディスカッションに参加している様子が非常に魅力的に映り、それが決め手となりました。

先輩からの親身なアドバイス

沖縄出身の私は「寮には入るものだ」と思いこんでいたこともあり、入学後はグローバルハウス（国際交流寮）へ入寮しました。1 年次生のときは GLAP のメンバーが 9 人住んでいて、とても早く仲良くなりました。住人の大半は留学生で、出身国によってマナーや習慣などが違い、はじめは驚くことが多かったのですが、寮生活を続けるうちに直して欲しいことなどをしっかりとと言えるようになりました。少人数制の GLAP では同級生だけでなく、二学年、三学年上の先輩や卒業生とも関わる機会があつて、先輩たちにも親密な関係を築けます。入学後最初のオリエンテーションでも、先輩たちに授業やアルバイトなどの相談に親身に乘ってもらえて大学生活のスタートはとてもスムーズでした。授業の課題など大変な面もありますが、同じように苦労してきた先輩からのアドバイスはとても参考になり、心強かったです。GLAP では同級生も先輩たちも、自由に自分のやりたいことを積極的にやっていて、自分も負けなようにがんばろうと常に刺激を受けています。

長期プロジェクトをまとめた達成感

授業の中で特に印象に残っているのは GL111 です。この科目では、留学生や他学部の学生も含めた受講生の中から 4-5 名のグループを作り、企業から提示されたプロジェクトテーマの解決に向けて取り組みます。同じメンバーと半年間という長い期間をかけて 1 つのプロジェクトに取り組むのは初めての経験でした。最初はお互いのペースが分からなくて苦労しましたが、メンバーのやりたいことなどをうまく調整して、徐々に形にしていきました。他の授業で学んだことも活用できて私にとっては半年間の総決算のようでした。結果的に、企業の方々の前で発表できる 4 グループの中に選ばれて、深い達成感がありました。この経験を通して、学問は1つひとつ分かれているのではなく、お互いにつながっているということに気付かされました。将来の進路はまだ定まっていますが、企業などの組織が社会貢献活動をしっかり和实施できる手助けをしていくような仕事に就きたいなと考えています。そのために今後はコーポレートガバナンスを勉強したいと考えています。



1日のスケジュール

通学	電車で移動中。スマホを通して知る情報は知らず知らずにフィルターがかかっていることが多いので、コンビニで買った新聞を読み、いろいろなニュースを幅広く知るように心がけました。
8:50	1 限目 (Nature of the Earth) ヨーロッパの科学の歴史を中心にした授業で、宗教が大きく関係していたり、元をたどると1つの学問だったものが、時代を経るにつれて枝分かれしていき、概念が少しずつ変化していった過程を知ることができました。
10:45	2 限目 (スポーツスタディ) 食事や運動など、自分の体調を把握し、コントロールする方法をいろいろと教えていただき、生活の中でも役立てています。他の学部の人たちとの交流もできる貴重な機会でした。
12:30	昼 食 昼食は、お弁当をよく持っていく、友だちとよく食べました。暖かい時期は外で食べるのが気持ちよかったです。
13:25	3 限目 (ドイツ語) 物心ついたときから英語と日本語に自然と接していたので、初めて言語をしっかりと学んだ経験となり、苦労しました。語学が得意な友だちや先輩に助けられました。
15:30	図書館で課題を進める 私は自分の部屋で勉強するのが苦手、平日は授業が終わると図書館に行き、遅くまで勉強していました。落ちついた雰囲気がとてもいいですし、図書や資料がたくさんあって、私のお気に入りの場所になりました。
17:00	アルバイト 1 年生のときはスーパーマーケットでアルバイトをしていました。客層がとても広く、いろいろなマナーを教わりながら、人に合わせた接客をするのが楽しかったです。
22:00	帰宅 寮には常にはたくさんの人が入っているので、ホームシックにはなりません。週末にはみんなで楽しく食事をしたり、留学生と一緒に東京観光をしたりしました。

※内容は取材時点のものです。

実践しながら知識を深める アウトプット型のカリキュラム

東京都
都立国際高等学校
2021年入学 齋藤 仁

アウトプット重視のカリキュラムに惹かれた

幼少期から中国・北京で暮らし、インターナショナルスクールに通っていました。その経験から、インプットとアウトプットのバランスを取りながら学ぶことが重要だと考えるようになり、少人数でディスカッションやディベート、プレゼンテーションなどを重視していた GLAP への入学を決めました。実際、少人数だからこそアウトプットの機会が多く、議論しながら知識を深めていくという経験ができました。例えば、課題の本を読み、自分の考えや理解を発表する授業がありましたが、グループで議論し、考え、アウトプットすることを重視していた授業だったからこそ、質問する力や質問に適切に答える力が鍛えられたと感じています。自分の考えを表現する機会を多く与えられたことにより、今自分が何を学んでいて、将来それがどのように役立つのかをしっかりと意識しながらの学びとなりました。

留学中にビジネスの現場を体験

留学では現地のビジネスに触れてみたいと考えていて、インターンシップやボランティア活動が盛んであることを 1 つの基準に留学先を選びました。実際に、留学中に地元の企業にソーシャルメディアのプラットフォームを提供し、マーケティングを援助する学生向けのプログラムに参加したのですが、フィットネスジムやチョコレート工場の経営者や何回もミーティングするなど実践的な現場を体験でき、海外でのビジネスを肌で感じることで、かけがえのない経験となりました。また、ボランティア活動では、日本の文化を紹介するお祭りの設営や販売などを手伝いました。ここでは自分が日本人であるというアイデンティティを大切に、周りの人たちに自分たちの文化を発信し、上げていくことの楽しさを知りました。アメリカでの経験を経て、世界で活躍できるグローバルな人間への憧れがさらに強くなりました。

多様な人との交流が将来の糧に

父親がマーケティング関係の仕事をしていたこともあり、将来は広告やマーケティング関係の職に就きたいとはもともとと思っていましたが、GLAP でさまざまな学問を幅広く学ぶうちに心理学や社会学などにもおもしろさを感じるようになり、専門を決めるときにはずいぶん悩みました。しかし、留学先のアメリカで現地のビジネスに触れた経験にも後押しされ、留学後にはビジネスを本格的に学ぼうと決めました。GLAP には、日本出身の学生が多いものの、生まれ育った国や環境がロシアだったり、イギリスだったり、中国だったり、多様なバックグラウンドを持った同級生が多く、一つのトピックに対してまったく違う意見をもっていて、いかに自分の知識が限られていて、偏っているかに気付かされました。グローバルに活躍できるようになれば、さまざまなバックグラウンドを持った人たちが文化とも接することになります。そんな時に、GLAP や留学などを通して多様な人々と触れ合った経験が役に立つのだと思います。高校生までの生活で将来の目標などがまだ具体的に見えていない人もいるかもしれませんが、そういう人こそ GLAP に来て欲しいなと思います。少人数制で、同級生や先輩としっかりと交流していくうちに、自分のやりたいことが必ず見えてくると思います。



学びの軌跡

1 年次	Tutorial 1 少人数のゼミ形式授業で、プレゼンテーションやディスカッションを通じて学びを深めました。予習、復習、文献の深掘りが重要視されるので、クリティカルシンキング能力や課題に対して複数の視点から捉えていく力が鍛えられました。
2 年次	GL202 異なる学部や学年の学生とグループを組み、企業の抱える課題の解決策を考え、提案しました。グループの人たちと議論しながら、1つのものをつくりあげる貴重な経験でした。この授業を通して、社会で求められることを肌で感じました。
3 年次	Organizational Behavior 留学先の大学で受けた科目で、組織内での個人やグループの行動や相互作用を研究する組織行動学の授業でした。グループワークやディスカッションが多く、現地の学生と関わりながら、インプットとアウトプットの両面から知識を深めていきました。
	International Marketing 日本だけでなく海外においてマーケティングやセールス、マネージメントの経験を持つ教授による授業でした。世界各国のマーケティング戦略や、国際的なビジネスにおける重要なポイントについて、理解を深めることができ、グローバルな視点でマーケティングに関わりたいと思っている私には、非常に興味深い内容でした。

※内容は取材時点のものです。

Global Liberal Arts Program (GLAP) 海外協定校

全員が、2 年次秋学期から 3 年次春学期の 1 年間、海外のリベラルアーツ大学などに留学し、異なる文化に触れ、国境を越えて活躍するために必要な能力を養います。留学にあたっては、卒業後の進路をふまえて 1 年次からアカデミックアドバイザーと履修相談を行い、留学先の検討・決定、また留学先での履修科目を検討していきます。



アメリカ

- A** バーモント大学
- B** ナザレス大学
- C** ニューヨーク州立大学ジェネセオ校
- D** トリニティ・カレッジ
- E** ライダー大学
- F** モラヴィアン大学
- G** ヴァージニア・ウェスレヤン大学
- H** ランドルフ・メーコン大学
- I** プレスビテリアン大学
- J** エモリー&ヘンリー大学
- K** オーガスタナ大学
- L** ミリキン大学
- M** ダラス大学
- N** トリニティ・ユニバーシティ
- O** ノーザンアリゾナ大学
- P** カリフォルニア大学サンタクルーズ校

※2 年次秋学期からの 1 年間の海外留学研修は、申請時点の GLAP 海外協定校にのみ、留学できます。

カナダ

- A** セントトーマス大学
- B** レスブリッジ大学

ノルウェー

- A** ヴォルダ・ユニバーシティ・カレッジ

オランダ

- B** ライデン・ユニバーシティ・カレッジ
- C** ユニバーシティ・カレッジ・ユトレヒト

ギリシャ

- D** ギリシャ・アメリカン大学

イタリア

- E** ジョン・カボット大学

チェコ

- F** アングロ・アメリカン大学

中国

- A** 嶺南大学 (香港)



※ 2024 年 3 月時点の協定校です。
※ 協定校は変更となる場合があります。
※ 詳細は GLAP の HP よりご覧ください。

- A** セントトーマス大学
St. Thomas University

カナダ東海岸のニューブランズウィック州に所在する公立リベラルアーツ校です。少人数の学部教育を重視し、個々の学生が物事に批判的視野を持つことができるような授業が行われており、質の高い教育を提供しています。



- B** ライデン・ユニバーシティ・カレッジ
Leiden University College

立教大学の大学間協定校であるオランダのライデン大学が、2009 年に創始した英語で授業が行われるオナーズ・カレッジです。地球規模の課題の解決に取り組む若い人材の育成を目的に、質の高い少人数教育を提供しています。



- A** バーモント大学／留学体験記 江尻 楓花 (2021 年入学) 留学期間：2022 年 8 月 - 2023 年 5 月

私は米国東海岸バーモント州バーリントンにあるバーモント大学へ留学しました。バーリントンは America's #1 College town と呼ばれており、シャンプレーン湖という美しい湖に面している雰囲気の良い学生街です。キャンパスから徒歩圏にあるダウントウンは小さいながらも洒落たレストランやショップ、劇場、ギャラリーが並んでいて休日にはよく散歩に出かけました。ただ冬の寒さはかなり厳しく気温はマイナス 25 度くらいまでぐらぐら下がり、外に出るとまつ毛が凍る経験もしました (笑)。

バーモント大学では、Journalism や Public Communication などを学びました。授業は少人数のクラス中心で、積極的に発言する学生が多く、授業中に発言するには最初はかなりの勇気が必要でしたが、めげずに発言し続けたところ、徐々にクラスのディスカッションの輪に入れるようになりました。そして最後の授業で実施したプレゼンテーションでは大きな手応えを感じることができました。また私は、日本や日本文化が英語でどのように教えられているのかに興味があったため、教授にお願いして、日本語クラスへ飛び入り参加させていただきました。その結果、日本に興味がある学生や、日本の大学へ留学予定のアメリカ人の友達を数多く作ることができました。バーモント大学への留学経験を通して多くを学ぶことができましたが、日本の慣れ親しんだ環境とは全く異なる環境で四苦八苦した経験が、自分自身を精神的に強くたくましく成長させ、そして自立することにつながったのではないかと感じています。そして一生付き合っていける多くの友人を世界中に作れたことも私にとって大きな収穫でした。



＜留学中に履修した科目＞

- 秋学期
 - ・ Japanese Pop Culture
 - ・ Fund of Public Communication
 - ・ English Expression
 - ・ Introduction to Sustainable Recreation & Tourism
- 春学期
 - ・ Activist Journalism
 - ・ Introduction to Historic Preservation
 - ・ Introduction to Global Studies
 - ・ Communicating Climate Crises

※内容は取材時点のものです。

- D** ギリシャ・アメリカン大学／留学体験記 バサデイラ シャイラ (2021 年入学) 留学期間：2022 年 9 月 - 2023 年 5 月

私にとって、GLAP での学生生活のハイライトは、やはりギリシャ・アメリカン大学への留学です。留学中は、マーケティングやデザイン、さらには神話学など、私の興味を惹くさまざまな分野の科目を履修する機会を得ました。その中でも特に面白かったのは、「Personal Branding for Professionals」という科目でした。自分ならではの「ブランド」を確立するために、自分の強みやスキル、経験を言語化し、自分自身を理解することに役立ちました。この授業で行った自己分析は、今後の就職活動にも役立つと思っています。「Research Concept Design」という授業では、いろんなプロジェクトを通してビジュアル言語や、メッセージを伝えるためのデザインについて学びました。留学中は多くの友達にも恵まれました。現地の友人たちは、私を彼らのコミュニティに招き入れ、家族の一員であるかのように感じさせてくれました。彼らは、私や寮のルームメイトたちに、ギリシャの島々を案内するなど、現地の文化に触れる機会を作ってくれました。他の国から来た留学生や現地の学生らの手助けによって、留学中の苦勞を乗り越えることができました。留学を経て、普段とは全く異なる場所で一人で生活することにより自立心が養われました。また、さまざまな文化に触れることによって異文化適応力や柔軟な思考力を身に付けることができました。困難に直面し、乗り越えた経験は、私を大きく成長させてくれたと感じています。



＜留学中に履修した科目＞

- 秋学期
 - ・ Introduction to Information Systems
 - ・ Introduction to Marketing
 - ・ Social Media in an Interconnected Society
 - ・ Research Concept Design
- 春学期
 - ・ Introduction to Entrepreneurship Management
 - ・ Digital Image
 - ・ Myth in the Ancient Greek and Roman World
 - ・ Personal Branding for Professionals

※内容は取材時点のものです。

＜ 留学までの流れ ＞



各協定校で定められた TOEFL iBT® テストまたは IELTS™ のスコア取得が学内選考までに必要です。選考にあたっては、学業成績や学習態度も重要視されます。留学は全員必須ですが英語外部試験スコアや GPA (Grade Point Average) が各協定校や GLAP が定める基準に達しなかった場合は、留学できない場合があります。

異文化交流を通して国際感覚を養う

国際交流寮

目 的

- 留学生等との共同生活・異文化交流を通して、さまざまなことを学ぶ。
- 留学生生活をイメージし、留学への意識を高め、目標を明確にする。

希望者は入学時に留学生と混住の国際交流寮に入寮可能です。寮生活を通して自立心や国際感覚を養います。

外国人留学生との交流が日常的に行われ、大学内だけでなく、寮の中でも異文化体験を通してさまざまなことを学ぶことができます。

また、共同生活を行う中で授業で学んだリーダーシップを発揮できます。

2025年4月より以下の池袋新寮への入寮となり、先着順での受付となります(若干名)。

設 備

- 住所:東京都豊島区池袋2丁目
- 竣工年月 : 2025年2月末(予定)
- 構造・階数:鉄筋コンクリート造・14階
- アクセス :立教大学まで徒歩約5分
- 主な共用設備:オートロック・カフェテリア・防犯カメラ・宅配ボックス・駐輪場(台数制限あり)・シェアキッチン
- 管理体制:管理人勤務・24hコールセンター受付

居室設備 (個室)

- 以下の設備が居室(個室)に備え付けられています(予定)。
- ・トイレ(温水洗浄便座) ・バス(浴室乾燥機付)・室内洗濯機
 - ・独立洗面化粧台 ・エアコン ・クローゼット・シューズボックス
 - ・ベッド ・照明 ・机、椅子 ・カーテン・室内物干し器
 - ・冷蔵庫 ・玄関カードキー

寮 費

- 食 費 :約2万円
- 寮 費 :約12万円／月(共益費込)
- *クリーニング費(全員)、寝具リース代(希望者のみ)、インターネット代、光熱費等が別途かかります。

詳細はGLAP公式HPにて
秋頃公開予定



FAQ

- 01

Q.Global Liberal Arts Programに入学するためには、どの入試を受験すればいいですか。

A. 国際コース選抜入試に出席し、受験してください。一般入試および大学入学共通テスト利用入試では募集しません。
- 02

Q.海外留学は全員が参加するのですか。

A. 原則として全員参加(履修)です。

国内・海外双方でリベラルアーツを学ぶことをカリキュラムの軸に据えていますので、留学による学びと経験は、Global Liberal Arts Programを修了した学生として身につけるべき能力を養う上で必須と考えています。

海外留学時にかかる費用は、渡航費・滞在費等です(150万円～300万円程度。先方都合やレート変動により、金額が変動する場合があります)。

立教大学の学費を納めていれば、留学先学費は免除となり、別途学費はかかりません。
- 03

Q.Global Liberal Arts Programで取得できる学位は何ですか。

A. GLAPで所定の要件を満たした場合、「学士(学術)」の学位が授与されます。

GLAPは授与する学位の専攻分野等に鑑み文学部文学科に位置づけられていますが、既存の学部学科とは別のカリキュラムを有し、立教大学全体のリソースを活用しながら運営していく学位プログラム・コースです。
- 04

Q.Global Liberal Arts Programの学生は、教員免許や司書資格を取得することはできますか。

A. 教員免許を取得することはできません。学芸員・図書館司書・社会教育主事の資格を取得することは可能です。

※資格取得のために必要な科目の授業は、原則として日本語になります。

幅広い選択肢からキャリアを考える

進路選択

キャリアセンターのキャリア・就職支援に加え、GLAP独自のキャリア科目を通して、国際機関やグローバルな企業の現場について学び、国内外へのキャリア形成について考えます。

卒業後の進路は、国内外の大学院進学やグローバル企業、NPO・NGOなど国際機関など多様です。

就職先の一例

- 楽天株式会社
- ダイソン株式会社
- コナミグループ株式会社
- 日本経済新聞社
- ヤマハ株式会社
- その他、金融、商社、マーケティング、コンサルティング系企業など

進学先の一例

- スタンフォード大学大学院
- エディンバラ大学大学院
- 東京大学公共政策大学院
- 早稲田大学大学院国際コミュニケーション研究科 など

大学院進学

宮崎 通 (2024年卒業)



GLAP でのリベラルアーツ教育を通して多様な分野に触れることで、自ら社会問題を分析・理解する力や、幅広い角度から知識を身に付ける力を学ぶことができました。特に、GLAP での少人数制の授業では主体的に学ぶ姿勢を養うことができ、他の GLAP の仲間から良い影響を受けながら学ぶことで成長につながったと思います。

元々インターネット上でのフェミニズム運動や、セクシャルマイノリティに関する議論や意見の二極化に関心があったため、主にジェンダーやメディアに関する授業を履修しました。さまざまな意見や視点に囲まれることで、多様な意見を尊重しながらも自分の意見を確立することに繋がりました。

留学中には、多様な文化的背景を持つ学生と共に学ぶいい機会を得て、視野を広げることができました。また、留学中に会った友人、GLAP の同期が自分のやりたいことを追求し、型にはまらない自由な進路選択をしている姿に刺激をもらいました。それに触発され、自分も関心のある学問を突き詰めたいと思い、海外の大学院に進学することを決めました。

4年次には Citizenship の分野を選択し、卒業論文ではソーシャルメディア、自己表現とデジタルアイデンティティ形成について執筆しました。大学院進学後もメディアの変容とデジタル化社会について研究を続ける予定です。

デジタル化が社会や個人にどのような影響を与えているのか。またソーシャルメディアがなかった時代と比較し、どのように人間関係が変わっているのかを掘り下げたいと考えています。GLAP で培ったスキルを武器に、さまざまなアプローチから現代の課題を掘り下げ、変化し続ける現代社会への理解を深めていきたいと思います。

商 社

太田 大海 (2024年卒業)



実は、就職活動をするにあたって、仕事選びや企業選びに対する基準はありませんでした。ただ漠然とこれまでの海外経験や英語のスキルを活用でき、国際的で将来性がある企業を中心に探していました。ただ、こんな私でも、GLAP での学びや経験を通して、就職活動の武器を得ることができました。

GLAP での4年間を通して、私は、他の学生とは一線を画す経験を得ることができました。グループワークやプレゼンテーションなど、学生を巻き込む授業スタイルは、リーダーシップやコミュニケーション能力の向上につながり、就職活動の選考プロセスに取り入れられているグループディスカッションで大きなアドバンテージとなりました。留学の経験も就職活動に大きく役立ちました。留学先の大学での授業やアルバイト経験を通じて、就職活動のアピールポイントを増やすことができました。留学中に参加した世界最大級の日英バイリンガルのための就職イベント「ポストンキャリアフォーラム」では、実践的な面接や書類選考を事前に体験することができ、結果的にはそこで縁のあった企業に就職することになりました。

素晴らしい縁に恵まれ、大きく成長させていただいた GLAP には感謝しかありません。GLAP は、自分自身のポテンシャルを引き出し、伸ばしてくれる環境であるということをぜひ心に刻んでもらえればと思っています。GLAP に在籍していること自体が強みであり、価値となります。私も、就職してからは、自分が携わった商品等で日本から世界、世界から日本をより良くするために、GLAP で身に付けた武器を生かして仕事に取り組んでいきたいと思っています。

奨学金・学費等

奨 学 金

以下の奨学金制度は、GLAP の学生のための奨学金です。

立教大学GLAP奨学金 ＜入学前予約型＞

修学支援を目的とする返還不要の入学前予約型奨学金です。国際コース選抜入試（GLAP）出願者のみが支給対象です。
希望者は、入試への出願とは別に、奨学金申請が必要です。申請者の家計状況を審査し、困窮度の高い学生が採用されます。
なお、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の採用者となった場合、併給制限（減額、支給停止等）があります。

給与年額	年間120万円
給与期間	原則4年間(継続審査あり)
採用候補者数	若干名

詳細や募集要項は右の
大学 HP でご確認ください。
最新の情報は、
2024 年7月1日に
公開予定です。



立教大学GLAP学業奨励奨学金、立教大学内藤昌尚奨学金

いずれも学業成績が優秀な学部2年次以上の学生を対象に、学業の奨励を目的として支給する奨学金です（給与奨学金）。両奨学金を同時に募集・選考し、GLAP 学業奨励奨学金については、各学年2名に年額20万円を、内藤昌尚奨学金については、最も優秀な学生1名に年額50万円を支給します。

その他の奨学金制度(全学部生向け)

その他にも留学や学生生活を支援することを目的とした奨学金や修学支援の奨学金制度があります。
本学独自の奨学金は給与奨学金であり、返還不要です。
本学の奨学金制度の一部をご紹介します。

詳細は右の
大学 HP でご確認ください。



	奨学金名	給与金額	採用人数(予定)	対 象
留 学 支 援	立教大学 グローバル奨学金	年額 10 万円～ 60 万円	支給基準を 満たした方全員	本学が実施する海外留学プログラムへの参加者で経済支援が必要な学生 ※GLAPのカリキュラムに組み込まれている2年次秋学期から1年間の留学は、家計審査により20万円または40万円または60万円を支給。 ※家計基準を超える場合は支給されません。
	立教大学校友会成績 優秀者留学支援奨学金	年額20万円	50 名	本学が実施する海外留学プログラムへの参加者で特に成績が優秀な学部2年次生以上
(奨学* 学支 援目 的)	立教大学 学部給与奨学金	年額80万円	70名程度	経済支援が必要な学部学生
	立教大学 大栗利信記念奨学金	年額 50万円	6 名	経済支援が必要な学部学生 (関東地方以外の出身者)

上表は2024年度の予定です。＊立教大学 GLAP 奨学金の受給者は、上記の修学支援の奨学金は受給できません。

学 費 等 (予定)

- 学費：190万円 / 年
- 入学金：20万円 / （初年度のみ）
- 留学費用：留学先学費免除 ※現地での寮費、渡航費は別途（150万円～300万円程度。先方都合やレート変動により、金額が変動する場合もあります）。

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス

8.3

(土) 池袋キャンパス

事前予約制

2024年度 オープンキャンパスのご案内



SNSも公開中



@glap_rikkyo



@RIKKYO_GLAP

Global Liberal Arts Program (GLAP) の入試

[入試要項]



2025 年 4月入学 募集概要

※日程の詳細はWebサイトをご確認ください。

	国際コース選抜入試 (GLAP) 募集人員：12名程度
Web出願期間	2024年9月12日(木)～9月18日(水)
第1次選考(書類選考)合格者発表	10月28日(月)
第2次選考(筆記試験・面接試験)	11月17日(日)
合格者発表	12月2日(月)*
第1次入学手続期間	12月9日(月)
第2次入学手続期間	2025年1月20日(月)～2月5日(水)

* 入学手続状況により、第2回合格者発表を行う場合があります。詳細はWebサイトの入試要項にてご確認ください。

出願資格

次の1～3の条件をすべて満たす者。

- 次の(a)～(c)のいずれかに該当する者。
 - 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者。
 - 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
- グローバル・リベラルアーツ・プログラムでの勉学に強い意欲を持つ者。
- 次の英語資格・検定試験のいずれかの成績を取得している者。
 - ▶利用できる英語資格・検定試験の詳細は、出願に先立ち、必ずWebサイトの入試要項にてご確認ください。
 - (a) ケンブリッジ英語検定スコア160点以上
 - (b) 実用英語技能検定[英検] 2,600点以上
 - (c) GTECスコア1,180点以上
 - (d) IELTS(Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア5.5以上
 - (e) TEAPスコア309点以上
 - (f) TEAP CBTスコア600点以上
 - (g) TOEFL iBTスコア72点以上※英語資格・検定試験の成績は4技能スコアのみ有効とする。 ※いずれも出願期間の初日から遡って2年以内に受験したものを有効とする。

【グローバル・リベラルアーツ・プログラム：出願条件1(c)の詳細内容について】

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者。
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者。
- 文部科学大臣の指定した者。
- 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2025年3月31日までに合格見込みの者。
- 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
- その他、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2025年3月31日までに満18歳に達するもの。
 - ※「日本の学校教育制度に基づく高等学校」以外の学校出身者は、出願に先立ち、「出願資格審査」を受ける必要があります。

選考方法

第1次選考	第2次選考
出願書類をもとに書類選考	●小論文：英語による小論文を実施します。与えられた英文を読み、そのテーマについて書かれた小論文から、読解力・論理的構成力・文章表現力などを総合的に評価します。 ●面接試験

【出願書類】入学志願票／志望理由書／調査書＊／証明書類

＊高等学校卒業者は、出身学校長が証明し厳封されたもの。高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」。

指定校推薦による入学制度があります。なお、一般入試および大学入学共通テスト利用入試でのGLAPの募集は行いません。



立教大学

■入学センター(入試に関するお問合わせ先)
03-3985-2660

■グローバル・リベラルアーツ・プログラム 運営センター事務局
03-3985-4612

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

[立教大学 Webサイト]



[GLAP Webサイト]



Reach beyond national and regional borders.
Work with others from
diverse backgrounds.
Take initiatives to solve global challenges.

Become a global leader at
Rikkyo University.

Today's world is changing dramatically.

The progress of globalization has enabled values to transcend national borders, generating new forms of conflict, and leading to uncertainty over what lies ahead.

Given such circumstances, it is crucial for universities to foster people with the ability to thrive in this changing world.

Since its foundation, Rikkyo University has pursued higher education to cultivate true global citizens, based upon the educational principles of liberal arts and Christian values.

As Rikkyo University seeks to advance its educational principles further, the Global Liberal Arts Program (GLAP) was introduced in April 2017 to educate future global leaders who can think and act spontaneously, as well as live in harmony with the people of the world.

The liberal arts spirit of free academic inquiry nurtures students' capabilities to conceptualize new ideas, and to transform society in order to tackle a wide variety of challenges. It also nurtures students' empathy to live together with the people holding diverse values and worldviews.

What GLAP offers is precisely the kind of education that is needed in the turbulent contemporary society and into the future.

Join us in the Global Liberal Arts Program to learn together and succeed on the world stage.

Global Liberal Arts Program

Founded in 2017, Rikkyo University's Global Liberal Arts Program (GLAP) is an advanced program designed to train people who will take the lead in today's global society.

As borders between countries and regions increasingly blur, in order to solve the various issues that an increasingly complex society presents, we need a free spirit that is not bound by a single, narrow knowledge; the preparedness to live among diverse people using of the English language as a global lingua franca, and the flexible attitude that judges issues based on multi-faceted perspectives.

"Liberal arts" is an idea that formed in Europe centuries ago, and refers to the academic studies necessary to understand our world. The liberal arts are traditionally the seven areas of grammar, rhetoric, and logic (the trivium), and arithmetic, geometry, astronomy, and music (the quadrivium).

Naturally, to understand the complex world of today, these seven liberal arts are no longer enough: we need to redefine the field to include areas like philosophy, history, sociology, economics, and management studies.

In addition, to deepen understanding, it is important to study not just the "what," but the "how".

In GLAP, students will carry out far-ranging debates with small class sizes, honing their own ideas with an emphasis on being able to put things into their own words.

As we engage in this work of reconstruction, we think about your abilities. That is to say, how can you develop your understanding of the world? How can you acquire the ability to give meaning to the

world? And how can you learn to make a difference to the world?

It's quite obvious that an education designed to foster these abilities of students does not in any way depart from the liberal arts tradition of antiquity.

When we think of liberal arts education in this way, the global dimension – learning English and learning IN English – is indispensable.

Today English is a universal language, and using English as the medium of learning opens the door to a world that is not accessible when the only medium of learning is Japanese.

GLAP was created to empower you to have an impact on this world.

We are confident that the skills students will gain from this program are genuine ones that will remain useful ten, twenty years from now.

As you pursue your studies in GLAP, we look forward to your discovering your own path to follow and entering society one day as excellent graduates.



Director,
Center for Global Liberal Arts Program
Hideyuki Matsui



Highlights of the Global Liberal Arts Program (GLAP)

English Medium Education

Studying Liberal Arts in English with Global Focus

GLAP has been designed as a four-year undergraduate program in which the students may earn a bachelor’s degree taught entirely in English. Liberal arts education is a part of Rikkyo University’s distinctive educational strength, which encourages students to pursue their own academic interest, expand academic horizons, and better understand a variety of theories and philosophies. GLAP allows students to put themselves in the environments where they may experience the world, while physically staying in Japan and studying liberal arts in English. As the students learn multiple academic subjects via interdisciplinary approaches, without being confined to any particular major field, they learn to understand diverse and multi-faceted perspectives of global issues. These may be deemed as the most critical skills in today’s society, and will lead student to develop the ability to work with people from all over the world, and better understand each other. As they go through a variety of learning experiences through GLAP, they gain English proficiency as well as communication skills, logical thinking capacity, and the critical thinking ability all of which are highly needed for students to be competitive in global settings after graduation.

Small Class Education

Nurturing a Sense of Spontaneity

As the admission into GLAP is highly selective and limited to only thirty students per year, the program offer an ideal educational environment where students can be in very close contact with their instructors to receive personalized guidance. During the first year, a small-group class “Tutorial” is offered with a maximum size of five students. Each student acquires basic competencies for logical and critical thinking, through a variety of activities such as text reading, essay writing, discussion, and presentation. In addition, students also learn from one another through Rikkyo University’s unique leadership education program that fosters leadership skills through group work and project-based learning. At the same time, they develop the ability for problem-solving by working with other group members, which encourages each student to develop a strong interest in taking initiative for solving global issues. Through working on their assignments with their cohort and international students, every student becomes motivated to continue their self-improvement, and grow to be global leaders who can live along side others with diverse backgrounds.

Year Abroad

A Meaningful Opportunity to Experience the Essence of Liberal Arts Education Overseas

All GLAP students are required to study abroad, for one academic year, at a partner institution, beginning from the fall semester of their second year to the end of spring semester of their third year. GLAP’s partner institutions are carefully selected for this program because of their strong focus on liberal arts education. Under the support and guidance of their Academic Advisors, who monitor the students’ academic progress, student decide on where to study and which courses to take at their host institution. Through encounters with diverse cultures and customs, as well as learning experiences in a foreign environment out of Japan, students discover their potential, enhance their ability to communicate in English, and build a wide range of networks with people from all over the world.

Specialization Track

Enhancing Student Knowledge with a Specialized Perspective

When students return from their study abroad experience, GLAP students continue to broaden their perspective by taking courses from multiple academic disciplines. In addition, after students complete the general education phase and study abroad experience, they select one area of specialization: “Humanities”, “Citizenship”, or “Business”. In each area, students engage in specialized studies to deepen their understanding. In the final year, as the capstone project of the four-year undergraduate program, students are required to take “Final Year Seminar” class and complete the Graduation Paper.

Living with International Students

Enhancing Global Awareness through Dormitory Life

GLAP students are given the option of living in an international dormitory so that they may prepare for living in campus accommodation while they study abroad. Living independently in the dormitory helps students to motivate themselves to study abroad and clarify the objective of their studies. Students have a meaningful experience of spending campus life with others from diverse backgrounds, many of whom have different nationalities, cultures, and worldviews. Life in the dormitory helps the students to develop their international mindset and enhance their global awareness. This is a valuable experience for students to enrich their study abroad experience, which starts in the fall semester of their second year.

Small Class Education

will let each one of you shine at

GLAP

GLAP values independence
Allows discussion.

Academic Advisors are always there to support us
They get me motivated!

Yu

Kan

Arisa

Junya

Nao

What makes small class education so special?

Respect each other's ideas
Frank and friendly environment.

Amazed at the growth of classmates returning from Study Abroad!
Classmates inspire each other.

Diverse backgrounds
Accept you as you are.

Diverse Environment

fosters global awareness at


GLAP



GLAP consists of faculties and students with diverse backgrounds from all over Japan and abroad. In addition, from September 2022, GLAP began accepting international students from various countries around the world. By studying in an international environment from the time of enrollment, students acquire diverse values and develop the ability to succeed on the world stage.


GLAP by the Numbers

Academic Year 2023



6:1


Ratio of Number of Students to be Admitted to Faculty



IELTS


5.5~8.5

English Score of Enrolled Students




10

Average Class Size
※Smallest 5




7:3

Ratio of Interactive Learning to Lecture-style Learning
(Based on Class Hours)



900⁺

International Students at Rikkyo
※as of October, 2023



2,025,000⁺



Number of Volumes in the Library
(AY2022)

Overview of the Global Liberal Arts Program (GLAP) Curriculum

Towards a New Type of Global Leader

GLAP students accumulate a wide variety of learning experiences in order to become a new type of global leader. Before studying abroad, GLAP students learn a wide range of fields, mainly Humanities, Citizenship, and Business. After students return from their study abroad experience, they select one from the above three fields and engage in specialized studies to deepen their understanding and complete the Graduation Paper.

Overview of Curriculum(Admission in April)

Year	Semester	Phase		Compulsory Subjects					Elective Subjects			Summer Intensive Programs	Free Elective Subjects	Extracurricular Educational Programs			
4 th	8	③ Completion Phase Select one area of specialization and learn specific academic subjects.					Final Year Seminar 2	Graduation Paper	Global Studies Electives - Humanities - Citizenship - Business	Expand your perspectives by learning from various fields of study.				English Liberal Arts (ELA)科目	Student Assistant (SA) Activities		Upperclassman is active as an SA
	7									Final Year Seminar 1							
3 rd	6	② Development Phase Obtain knowledge to lead to self-fulfillment from a variety of learning opportunities with specific goals.						Study Abroad Phase	Study Abroad 1・2						English Liberal Arts (ELA)科目		
	5																
2 nd	4							Second Year Seminar	Global Studies Essentials			English Liberal Arts (ELA) Subjects					
	3														Learn basic academic skills with a maximum of five students.	GL202	
1 st	2	① Introduction Phase Acquire basic knowledge to acquire the ability for critical thinking.		University-wide Liberal Arts Subjects Language Courses	Liberal Arts in Higher Education	Tutorial 2	GL111	Understand the features of three fields of specialization before studying abroad and deepen your study by selecting one of the three fields of study after studying abroad.					Preparation for Study Abroad -Exchange events with partner institutions -Interaction with international students -Dormitory Life		Study Abroad consultation with senior students.		
	1					Tutorial 1											

Course Listings

■ Introduction to Academic Studies

- Liberal Arts in Higher Education

■ Seminar Subjects

- Tutorial 1(Academic Learning Methods)
- Tutorial 2(Academic Learning Methods)
- Second Year Seminar
- Final Year Seminar 1
- Final Year Seminar 2

■ Graduation Paper

■ GLP Basic Subjects

- GL111
- GL202

■ Study Abroad

- Study Abroad 1
- Study Abroad 2

■ GLAP Summer Intensive Programs

- University Education in the World
- University in Modern Society
- Career and University Education in the Global World

■ English Liberal Arts (ELA) Subjects

- World History
- Culture and Fine Arts
- Political Sociology
- Nature of the Earth
- Literature and Society
- Economic Thought
- Health and Wellness
- Topics in Environment
- Topics in Natural Science
- Topics in Humanities and Arts
- Career Planning
- GLAP Special Seminar 1
- GLAP Special Seminar 2

■ University-wide Liberal Arts Subjects Language Courses

- English
- Language not previously studied*

[Select one language from below]

German, French, Spanish, Chinese, Korean, Russian and Japanese

*In those classes the instruction is given in Japanese, while non-Japanese-speaking students can study Japanese in English as a foreign language subject.

■ Free Elective Subjects

course titles omitted

■ Global Studies

- Global Studies Pre-Seminar
- Cross-Fields Research

<Humanities>

- Global Studies Essentials
- Globalism and Humanities
- Global Studies Electives
- Humanities First Seminar
- Christianity in Japan
- Japanese Literature in the World
- Japan in Asian Context
- Rethinking European Literatures
- Traditional Arts in Japan
- Postmodern Turn in Japanese Arts
- Development of Gender Studies
- Intellectual History of Japan
- Seminar in Literature and Culture Studies 1
- Seminar in Literature and Culture Studies 2
- Seminar in Literature and Culture Studies 3
- Seminar in Literature and Culture Studies 4
- Seminar in Literature and Culture Studies 5
- Seminar in Literature and Culture Studies 6

<Citizenship>

- Global Studies Essentials
- Citizenship Education
- Global Studies Electives
- Citizenship First Seminar
- Principles of Sociology
- Global Sociology
- Global City
- Gender/Minority Studies
- International Relations
- UN and International Organizations
- Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities
- Area Studies – Africa, Islam and Asia
- Sociological Studies A
- Sociological Studies B
- Sociological Studies C
- Sociological Studies D
- Sociology of Gender A
- Cultural Anthropology A

<Business>

- Global Studies Essentials
- International Business
- Global Studies Electives
- Business First Seminar
- Business and Society
- Introduction to Finance
- Introduction to Accounting
- Introduction to Marketing
- Corporate Finance and Valuation
- Financial Statement Analysis
- Marketing Research
- Advanced Business Project
- Business Communication
- Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market
- Intercultural Business Management
- Global Innovation Management
- International Human Resource Management
- Global Strategic Management
- Marketing Positioning Strategy

Instructors 2024

■Keaveny, Christopher

Tutorial 1・2, Graduation Paper, Literature and Society, Topics in Humanities and Arts, Globalism and Humanities, Humanities First Seminar, Intellectual History of Japan

■Mellet, Xavier

Tutorial 1・2, Graduation Paper, Political Sociology, Cross-Fields Research, Citizenship Education, Citizenship First Seminar, Principles of Sociology

■Nakagomi, Sayaka

Liberal Arts in Higher Education, Tutorial 1・2, Second Year Seminar, Final Year Seminar 1・2, Study Abroad 1・2, Global Studies Pre-Seminar

■Ohashi, Satomi

Tutorial 1・2, Second Year Seminar, Final Year Seminar 1・2, Study Abroad 1・2, Culture and Fine Arts, Global Studies Pre-Seminar

■Abu-Dari, Mazen Musa Moh'd ■Carrasco Lara, Alberto ■Choi, Hee Young ■Gorshkov, Victor ■Haejun, Jeon ■Gu, Junjian ■Hallman, Francis Candler ■Handika, Rangga ■Ikebuchi, Maki ■Kaneta, Tereza Cazumi ■Knight, Kevin Robert ■Kobayashi, Junji ■Lee, Minjoo ■Marquez, Loren ■Mignon, Edward Taylor ■Mitani, Jyunko ■Mizushima, Jun ■Nazzicone, Maria Joelle Rimas ■Nijjima, Yoshie ■Ninomiya-Lim, Sachi ■Park, Chris Hyunkyu ■Reisel, Mary ■Sayers, Brian ■Schwemmer, Patrick Reinhart ■Terada, Yuki ■Teranaka, Makoto ■Vinitphol, Rujirat ■Witkam, Frank and others

Classes

Tutorial

Tutorial 1&2, considered to form the core of GLAP courses, are offered in extremely small-sized classes consisting of a maximum of 5 students. The classes are held once a week during the Spring and Fall Semesters in the 1st year and aim to comprehensively improve basic academic skills such as critical reading, academic writing, presentation which are necessary for university-level learning. Students read two reading materials (topics are selected from areas such as Humanities and Social Sciences) per term. Before each session, students read the assigned materials and prepare for presentations and summary writings. In each session, following the students' presentations, instructors and students confirm their understandings and have discussions. When the class has reached the end of each reading material, students are required to write two essays with research questions. Tutorial 1&2 encourages students' all-round learning through preparation, review and active participation in classroom activities. Full support is provided by instructors, and stimulating interactions between instructors and students are offered. Students may experience hard times as they develop their skills, however, these classes are challenging and satisfying.



Small group vigorous discussions

GL111(Global Leadership Program)

Global Leadership 111 (GL111) is a class in which GLAP students can develop their own individual and differing understandings of leadership through collaborative practice. The theme of the practice will be shared by real corporations and students can act to create new solutions to the issues in the real world. Students work in small groups to think of new solutions by critically thinking through the issues, setting the effective direction and strategy, and proposing new ideas on how to call actions in the real world. As students work on it, they are encouraged to be conscious of the three minimum leadership essentials sharing goals, setting examples, and enabling others and thus systematically cultivate facets of leadership that may not be outwardly apparent. On the way of its leadership challenges, all the team members have chances to reflect on the teamwork process, performance, and individual leadership one after another. The learning and finding about themselves will let them notice one's own potential to grow further, and it will be of great use in living a fulfilling life with developed leadership even after the university graduation.To achieve this goal, faculty members, student assistants (SAs), and administrative staff in Global Education Center will work as one team to accompany you and support your leadership development through GL111 and the Global Leadership Program classes that follows.



Group Mid-presentation (Poster Session)

Easy access to Academic Advisors!

GLAP offers small-class education and the academic advisors provide individualized and meticulous support for students, including counselling on studies and interim interviews. Students can take educational counseling and discuss any problems they have which include course consultation for study abroad, speak with academic advisors daily in a relaxed environment. Even while studying overseas, students are able to remain in constant communication with their academic advisors through monthly reports. GLAP's academic advisors are teachers who are easily accessible and students can talk freely about anything in university life. After students select their area of specialization, they can also consult sub-academic advisors in each area on specialized learning.



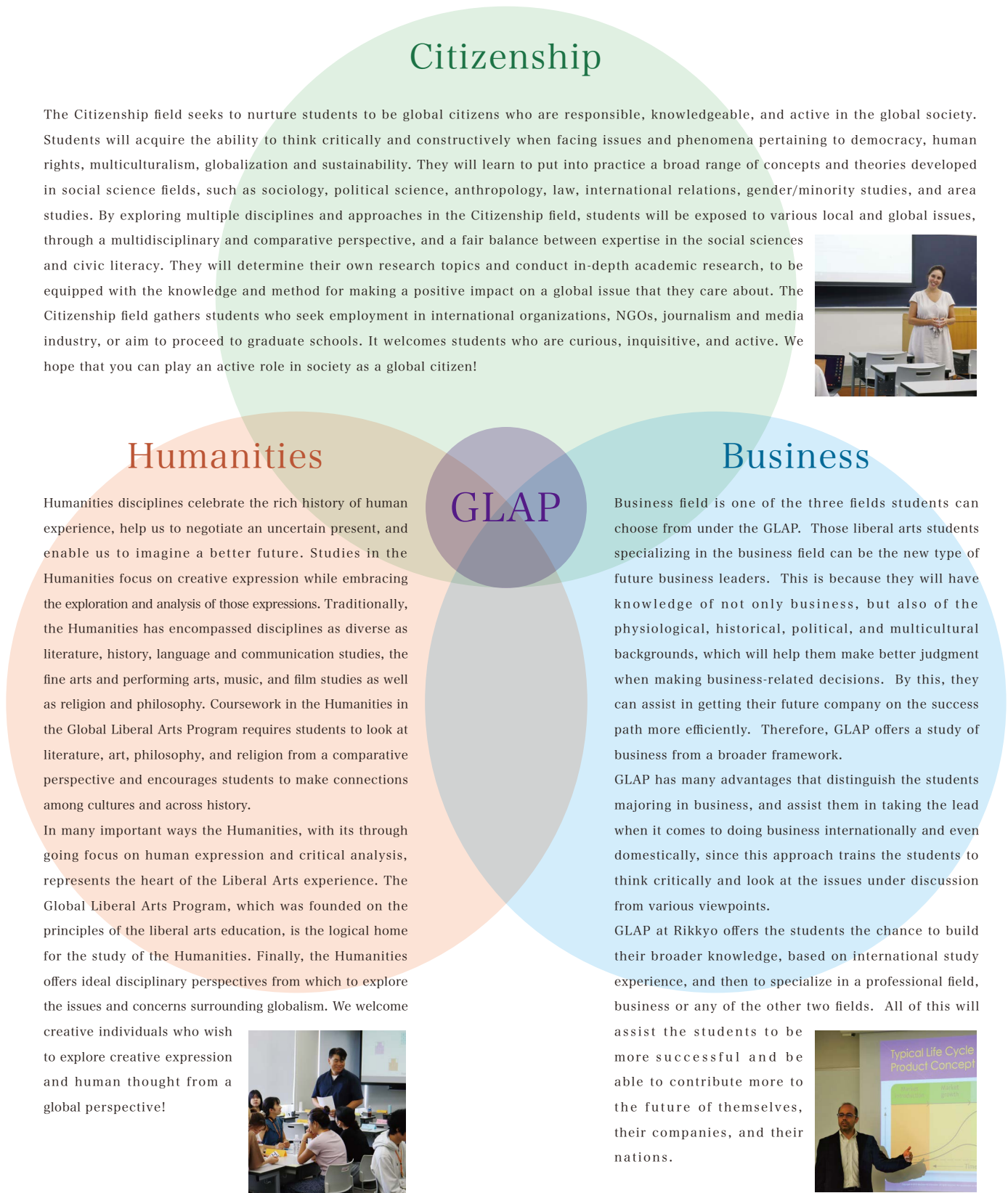
A comment from a GLAP student

Although I was worried about whether I could fit into the English environment in GLAP at first, now I am leading a fulfilling university life without worry thanks to semesterly interviews with my academic advisor where I can discuss my concerns. Since the academic advisors are fluent in both Japanese and English, students can feel at ease with the language they prefer during the interviews. Knowing that I always have someone I can rely on, I think I will be able to overcome my first time abroad starting this September. The academic advisors allow students to consult not only about their studies but also about anything, which is emotional support for students and one of the charms of studying at GLAP.

Hina Suzuki (Enrolled in 2023)
*as of the time of this interview

Global Studies

Students will select one of the three fields of Global Studies (Humanities, Citizenship, Business) based on the interests which have developed through previous studies and study abroad, and deepen their specialized knowledge and conceptual understanding of the field. After choosing a specialization in their third year, students take "First Seminar," which is offered in each field of study as an important subject to deepen their understanding of Global Studies. Students will learn what specialization is and the perspectives, theories, and approaches that are essential to conducting research in their field of specialization. In the fourth year, students will decide their own theme, write a Graduation Paper over the course of a year, and present it. This will be the culmination of an organic synthesis of expertise and thoughts in the selected field, as well as knowledge and multifaceted perspectives from a variety of fields that have been acquired over the years.



Campus Life of Students

A Fulfilling Student Life with Inspiration from Many People

Okinawa / Okinawa Prefectural Kyuyo Senior High School
Chester Chelsea Celli (Enrolled in 2023)

Education for seeing society from a broad perspective

I studied microplastics and animal welfare in high school. Everyone thought I would go into science, and there was a time when I thought so, too. But as I came into contact with social issues through animal husbandry, I started thinking that I wanted to be a person who thinks about how to apply new technologies to daily life rather than develop them. In particular, I had the opportunity to talk with veterinarians when a large number of pigs had to be slaughtered because of hog cholera. This experience made me realize that there are many roles and jobs in the world that we do not see. I became keenly aware that some things that cannot be saved by specialized research alone, so in order to be able to make the best overall decision, I felt that I needed to consider things from multiple perspectives, which my decision to study liberal arts. Other universities have liberal arts departments, but GLAP was the only program that had a small cohort, with about 30 students per year. I also found it very appealing to see GLAP professors participating in discussions from the perspective of students at the open campus events, and this was a deciding factor for me.

Friendly advice from a senior student

Coming from Okinawa, I was under the impression that I should live in the dormitory, so I joined Rikkyo Global House (the international exchange dormitory) after enrolling. Nine other GLAP students lived there as well, and we quickly became friends. The majority of Global House residents are international students and I was often surprised at the differences in manners and customs among people from different countries. Living in the dormitory, I eventually learned how to clearly express myself to others, such as when I wanted a behavior to be corrected.

Since there are only a small number of students in GLAP, we have opportunities to interact not only with students in our own year but also with second and third years students as well as alumni. Because of this, we build a strong relationship with our seniors. Even at the initial orientation, my seniors kindly gave me advice about classes, part-times job, and the like, so my university life started off very smoothly. There are some difficult aspects such as class assignments, but it was very helpful and reassuring to get advice from seniors who had experienced the same issues. My GLAP classmates and seniors freely and actively do what they want, always inspiring me to do my best to keep up with them.

A sense of accomplishment from completing a long-term project

The GL111 class was particularly memorable for me. In this course, students form groups of 4-5 people that include international students and/or students from other departments. Each group is tasked with developing a solution to a company-provided theme over a six-month period. This was the first time that I had worked with the same team members on the same project for such an extended period. At first, we had some difficulty grasping each other's rhythms, but we were able to coordinate what the members of the group wanted to do, and the project gradually took shape. I was able to utilize what I learned in other classes, so for me the six months felt like a consolidation of what I had learned.

I therefore felt a profound sense of accomplishment when my group was selected as one of the four to present in front of the business community. This experience taught me that the academic disciplines do not stand alone but are connected.

I haven't yet decided what my future path is, I would like to work in a position that helps companies and other organizations implement social contribution activities. To do this, I would therefore like to study corporate governance.



Daily Schedule

Commute	By train. The information we get through our smartphones is often filtered without us realizing it, so I read a print newspaper that I purchase at the convenience store. I try to pay attention to a wide variety of news.
8:50 am	First period (Nature of the Earth) This class focused on the history of science in Europe. Religion played a heavy role, and what was originally a single academic discipline branched out over time, with the concepts changing little by little. I was able to learn about this process.
10:45 am	Second period (Sports Study) I have learned various ways to understand and control my physical condition with diet and exercise, which I am now using in my daily life. This class was a valuable opportunity to interact with people from other departments.
12:30 pm	Lunch I would take a bento lunch box to school and often eat with my friends. In warm weather, it felt nice eating outside.
1:25 pm	Third period (German) Since I've been immersed in English and Japanese since I was a baby, this was my first experience properly studying a language from scratch—and it was hard. I received help from friends and seniors who are good with languages.
3:30 pm	Work on assignments at the library I don't like studying in my dorm room, so on weekdays I would go to the library after classes and study until late. The library has a very calm atmosphere and there are lots of books and materials, so it has become a favorite place.
5:00 pm	Part-time job In my first year, I worked at a grocery store. There are a variety of customers, and I enjoyed learning various manners and serving customers in ways that met their specific needs.
10:00 pm	Return home Since there are always lots of people in the dorm, I never felt homesick. On the weekends, I would enjoy meals with others in the dorm and go sightseeing in Tokyo with the international students.

※ as of the time of this interview

An Output-Based Curriculum Will Deepen Your Knowledge Through Practice

Tokyo / Tokyo Metropolitan Kokusai High School
Jin Saito (Enrolled in 2021)

The output-based curriculum appealed to me

As a child, I lived in Beijing and attended an international school. From this experience, I came to believe that it's important to learn while balancing input and output. I decided to enroll in GLAP because of its emphasis on discussion, debates, and presentations in small groups. There were actually many opportunities for output because of the small number of students, so I was able to deepen my knowledge through discussion. For example, there was a class where we had to read an assigned book and present our thoughts and understanding of the content. Because the class emphasized group discussion, thinking, and output, I feel that I strengthened my ability to ask and appropriately answer questions. Having had many opportunities to express my thoughts, I feel I can now maintain a strong awareness of what I'm learning in the moment and how it will be useful in the future.

Experiencing the business world while studying abroad

I wanted to gain exposure to local businesses while studying abroad, so one of my selection criteria was a place with many internships and volunteer activities. While I was studying abroad, I participated in a program for students that provided local businesses with social media platforms and provided marketing assistance, so I was able to gain practical on-the-job experience such as holding multiple meetings with the management of a fitness gym and a chocolate factory. It was an invaluable experience for me to get firsthand exposure to business overseas. As part of my volunteer activities, I helped set up and do sales at a festival to introduce Japanese culture. This festival made me very aware of what it means to hold a Japanese identity in a foreign country, and I learned how much fun it can be to value one's own identity and communicate and spread one's culture to others. After my experience in the United States, my desire to become a global person who can play an active role in the world has become even stronger.

Interacting with a diversity of people is the daily bread of our future

Because my father worked in marketing, I originally wanted to work in advertising or marketing in the future, but as I studied a wide range of subjects at GLAP I became interested in soft sciences such as psychology and sociology. I had to spend for a while deciding a specialty, but encouraged by the experience I had with local business while studying abroad in the States, I decided to study business seriously. Although there are many Japanese students in GLAP, my classmates have diverse backgrounds such as being born or raised overseas in countries such as Russia, England, and China, so we would have completely different opinions on the same subject. It made me realize how limited and biased my own knowledge was. Working globally, you will come into contact with people from various backgrounds and cultures. I think the experience of interacting with a diversity of people through GLAP and studying abroad is helpful for situations like this. There may be high school students out there without a clear vision for their future goals, but I think those are the people we want to come to GLAP. I believe that as you get to know the small community of your GLAP classmates and seniors, you will definitely discover what you want to do.



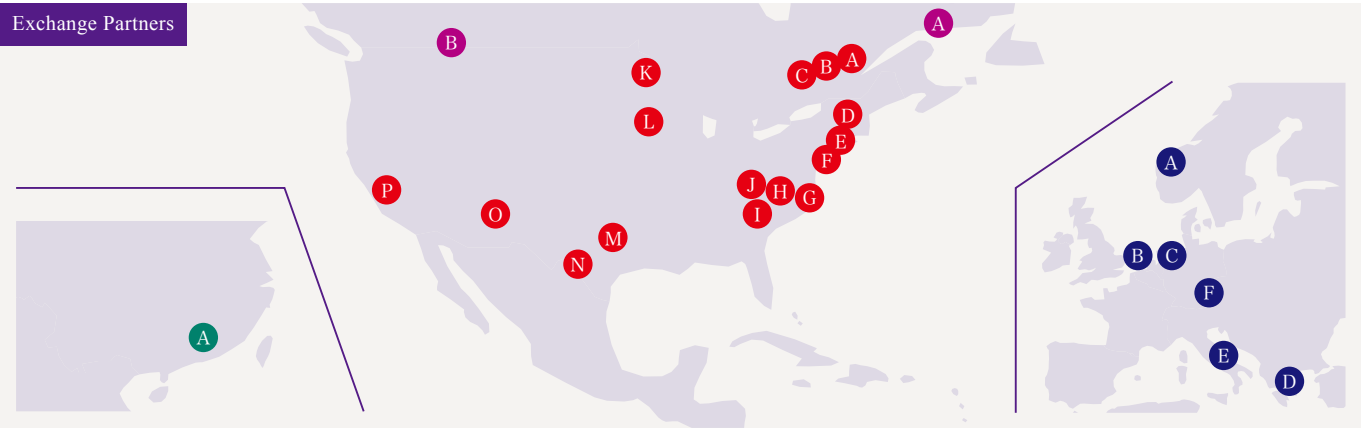
Learning Trajectory

First Year	Tutorial 1 This seminar-style class with a small number of students deepened my learning through presentations and discussions. Because the tutorial emphasizes preparation, review, and digging deeper into the literature, I was able to develop my critical thinking skills and an ability to approach issues from multiple perspectives.
Second Year	GL202 As a member of a group with members from different faculties and years, we considered a problem faced by a company and proposed a solution. Creating something from group discussions was a valuable experience. Through this class, I was able to get firsthand experience of what society expects from me.
Third Year	Organizational Behavior During my study abroad, I took a course in organizational behavior, which is the study of behaviors and interactions of individuals and groups within an organization. A lot of group work and discussion was required, and I deepened my knowledge both in terms of input and output while interacting with the local students.
	International Marketing The class was taught by a professor who has experience in marketing, sales, and management not only in Japan but also in other countries. I was able to deepen my understanding of marketing strategies around the world and the important points for international business. As someone who wants to be involved in marketing from a global perspective, I found the course very interesting.

※ as of the time of this interview

Global Liberal Arts Program (GLAP) Partner Institutions

For one year from the fall semester of the second year to the spring semester of the third year, all GLAP students undertake study abroad at a liberal arts college outside Japan, encountering other cultures and cultivating the skills required to play an active role beyond borders. Students consult with their Academic Advisors to explore study abroad destinations, decide on a host institution, and plan what courses to complete.



America

- A** University of Vermont
- B** Nazareth College
- C** State University of New York at Geneseo
- D** Trinity College
- E** Rider University
- F** Moravian University
- G** Virginia Wesleyan University
- H** Randolph-Macon College
- I** Presbyterian College
- J** Emory & Henry College
- K** Augustana College
- L** Millikin University
- M** University of Dallas
- N** Trinity University
- O** Northern Arizona University
- P** University of California at Santa Cruz

※For one year from the fall semester of the second year: study at GLAP partner institutions at the time of application.

Canada

- A** St. Thomas University
- B** University of Lethbridge

Norway

- A** Volda University College

Netherlands

- B** Leiden University College
- C** University College Utrecht

Greece

- D** American College of Greece

Italy

- E** John Cabot University

Czech

- F** Anglo-American University

China

- A** Lingnan University (Hong Kong)

[GLAP website]



*Exchange partner institutions as of March 2024. Partner institutions are subject to change.

A St. Thomas University

St. Thomas is a public liberal arts school in the province of New Brunswick, on the eastern coast of Canada. With an emphasis on small-sized undergraduate instruction, the university offers high-quality education and classes in which each student learns to analyze things from a critical perspective.



B Leiden University College

In 2009, Netherlands' Leiden University, with which Rikkyo University has an exchange partnership agreement, established an honors college where classes are offered in English. The College offers high-quality education using small-scale teaching methods to its students, with the goal of training young people who can tackle problems on a global scale.



A University of Vermont／Study Abroad Report

Fuka Ejiri (Enrolled in 2021)
from August in 2022 to May in 2023

I studied at the University of Vermont (UVM) in Burlington, USA. I took classes mainly related to Journalism and Public Communication. The classes were small and most students actively participated in the class discussion. Therefore I managed to encourage myself to speak up there. However, I got used to such a challenging environment and was so proud of myself when I completed the final presentation in the last class. Since I was also curious about how Japan and Japanese culture were discussed in the US, I jumped in the Japanese class. As a result, I was able to make many American friends, who were interested in Japan and/or planning to study abroad in Japan. Burlington has a great atmosphere, facing a beautiful lake, Lake Champlain. In fact, Barlington has been selected America's #1 college town many times. Downtown Burlington, within a walking distance from the campus, is not so big a city, but has cozy restaurants, stylish stores, small theaters, and chic galleries. I often walked around such a beautiful town on holidays. However, Vermont was freezing cold, dropping to minus 25 degrees Celsius, and I experienced freezing eyelashes for the first time in my life there! Overall, I learned a lot through my study abroad experience in UVM. The experience out of my comfort zone helped me grow mentally strong, and become more independent. That was also a priceless opportunity for me to make many life-long friends all over the world.



< Courses taken while studying abroad >

- Fall semester
 - Japanese Pop Culture
 - Fund of Public Communication
 - English Expression
 - Introduction to Sustainable Recreation & Tourism
- Spring semester
 - Activist Journalism
 - Introduction to Historic Preservation
 - Introduction to Global Studies
 - Communicating Climate Crises

*as of the time of this interview

D American College of Greece／Study Abroad Report

Shaira Pasadilla (Enrolled in 2021)
from September in 2022 to May in 2023

Throughout growing up, I have realized that the only way to truly learn is by experiencing real-life situations. My time studying in Greece is a long yet an unforgettable journey that I enjoyed and learned a lot from. It is no doubt that my experiences in Greece only consisted of adventures. Greece has captivated me with its rich and vibrant culture and history, and the more I explore, the more my curiosity peaks to learn deeply about the meaning behind Greek culture and life. You can never run out of things to explore and personally, I enjoyed being surrounded by an entirely different culture that is very new to me. Stepping on-foot in ancient ruins and archaeological sites as I explored Greece made me feel as if I was part of the historical event that happened in the place. I realized that being in the actual place gave me a much deeper understanding, appreciation, and sense of connection with Greek culture. Being immersed in a diverse environment, my self-confidence improved more than I expected thanks to the benefits of studying abroad. I have learned to be independent and adapt to places quicker. Most importantly, studying abroad has helped me find interactions with people regardless of their background much easier and communicate efficiently. Being abroad, I unlocked an entirely new identity in myself that I feel proud of. Although I came across many ups and downs, the experiences I have gained from dealing with various situations encouraged me to become stronger and know how to deal with them in the future.

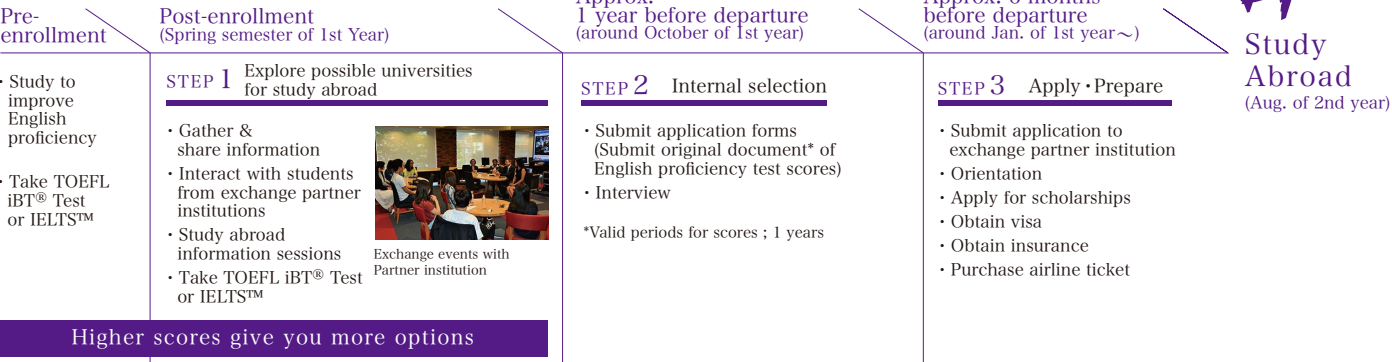


< Courses taken while studying abroad >

- Fall Semester
 - Introduction to Information Systems
 - Introduction to Marketing
 - Social Media in an Interconnected Society
 - Research Concept Design
- Spring Semester
 - Introduction to Entrepreneurship Management
 - Digital Image
 - Myth in the Ancient Greek and Roman World
 - Personal Branding for Professionals

*as of the time of this interview

< Preparing for Study Abroad >



Students must achieve the TOEFL iBT® Test or IELTS™ score set by the respective exchange partner institution by the time of the internal selection. The selection places priority on the student's academic achievements and attitude toward learning. If the external English language test scores and GPA (Grade Point Average) do not meet the standards set by the partner institution or GLAP, there may be cases where the student is unable to participate in the study abroad program.

Gaining global awareness through intercultural exchange

International Dormitory

- Purpose
- To learn through the experience of living with international students and others.
- To clarify students’ objectives’ for study abroad.

Applicants are eligible to live together with international students at the International Dormitory. Dormitory life fosters a spirit of self-reliance and a global perspective. From April 2025, students will be placed in the following new Ikebukuro dormitories (first-come, first-served basis).

Profile

■Address: 2nd Street Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo, Japan

■Completion date:End of February 2025 (scheduled)

■Floor numbers : 14 floors

■Access: 5-minute walk from Rikkyo University’s Ikebukuro campus

■Crime prevention: Electronic locks (IC card readers), security cameras


Room facilities

Single bed room, Desk, Chair, Closet, Refrigerator, Laundry machine, Wash stand, Bathroom, Sink, Air Conditioner, Shoe box

Costs for services

Dormitory fee: 120,000 yen per month
Meal expenses: 20,000 yen per month
*Cleaning fee, bedclothes leasing (optional), utilities and internet free will be charged separately.

Details will be available on the official GLAP website in the fall.



Consider a career path with a wide range of options

Career

In addition to support for career planning and job searching provided by the Career Center, students learn about the field of international organizations and global companies, and think about career development in Japan and overseas through the unique career courses of GLAP.

Employment	<div>●Rakuten Group, Inc.</div> <div>●Yamaha Corporation</div>	<div>●Dyson Limited and other marketing and consulting firms etc.</div>	Further Education	<div>●Stanford University</div> <div>●University of Edinburgh</div> <div>●The University of Tokyo Graduate School of Public Policy</div>
------------	--	---	-------------------	--

Graduate school

Haruka Miyazaki
(Graduated in 2024)



Through my liberal arts education at GLAP, I was able to gain the ability to analyze and understand social issues and acquire knowledge from different angles by being exposed to diverse fields. In particular, the small class sizes at GLAP helped me to develop a proactive learning attitude, and I believe that learning while receiving positive influences from other students helped my personal growth. I mainly took courses on gender and media since I was originally interested in the online feminist movement and the polarization of debates and opinions about sexual minorities. Being surrounded by peers with a variety of opinions and viewpoints led me to establish my own opinions while fostering respect toward diverse views. During my study abroad, I relished the opportunity to collaborate with peers from varied cultural backgrounds, which allowed me to broaden my perspective. Moreover, I was inspired by my friends I met while studying abroad and my GLAP classmates, who were pursuing what they wanted to do and making unconventional and free career choices. This inspired me to pursue my own academic interests, and I decided to continue my education at a graduate school overseas. In my final year, I chose the Citizenship field and wrote my thesis on the intersection of social media, self-expression, and digital identity construction. I plan to continue studying media transformation and the digitalization of society for my master’s study. Equipped with the critical thinking skills I gained at GLAP, I look forward to delving into contemporary challenges from a variety of approaches, striving to deepen my understanding of our ever-changing society.

Trading Campany

Hiromi Ohta
(Graduated in 2024)



If you are looking for a job in Japan, the fact that you were enrolled in GLAP itself is of great value. I personally felt that there was a difference in experience that set me apart from other Japanese students. Class style of huge student involvement, such as group work and presentations made me improve on leadership and communication skills, and I spoke passionately about it in job interviews. This kind of group presenting experience gave me a big advantage in the group discussion process that was part of the job hunting selection process too. The study abroad program was also a big help in my job hunting. At the Boston Career Forum, I was able to experience practical interviewing and document screening ahead of time and received several job offers. I was also able to increase my appeal points for job hunting through my classes and part-time job experience at the university where I studied abroad. I think that being in the GLAP and having such a unique group of members makes it easier to catch the attention of interviewers during the job hunting interview process. I know job hunting can be frustrating, but if you always remember what you have experienced at GLAP, and have good confidence on yourself, you are sure to get good results.

Admission into the Global Liberal Arts Program (GLAP)

Application Schedule (For Enrollment in April 2025)

	Entrance Exam for International Courses (GLAP)
	Number of students to be admitted: up to 12
On-line Application period	Thursday, September 12, 2024 - Wednesday, September 18, 2024
Announcement of first-round screening results (document screening)	Monday, October 28, 2024
Second-round screening (written exam and interview)	Sunday, November 17, 2024
Announcement of final results	Monday, December 2, 2024*
First round of enrollment procedures period	Monday, December 9, 2024
Second round of enrollment procedures period	Monday, January 20, 2025 - Wednesday, February 5, 2025

* A second announcement of successful applicants may be made depending on the status of enrollment procedures. For details, please refer to the entrance examination guidelines, which is to be released on Rikkyo University’s website.



Admission Requirements

Applicants must satisfy all of qualifications listed in 1 to 3 below.
1. Applicants must fall under one of the subitems (a) to (c) below:
(a) Graduated, or expecting to graduate by March 2025, from a senior high school (including the upper curriculum of a secondary education school; same applies below);
(b) Completed, or expecting to complete by March 2025, twelve years of school education under a regular curriculum; or
(c) Recognized, or expecting to be eligible for recognition by March 31, 2025, as having academic ability equal to or above that of a senior high school graduate, pursuant to Article 150 of the Ordinance for Enforcement of the School Education Act.
2. Applicants must have strong motivation to study in the Global Liberal Arts Program.
3. Applicants must fall under one of the subitems (a) to (g) below:
For details on available English qualifications / proficiency examinations, please be sure to refer to the entrance examination guidelines on Rikkyo University’s website before applying.
(a) Obtained Cambridge English Qualifications score of 160 or above
(b) Obtained EIKEN Test score of 2,600 or above
(c) Obtained GTEC score of 1,180 or above
(d) Obtained IELTS (Academic Module) Overall Band Score of 5.5 or above
(e) Obtained TEAP score of 309 or above
(f) Obtained TEAP CBT score of 600 or above
(g) Obtained TOEFL iBT score of 72 or above
*For all of the above, “scores achieved in exams taken from within two years of the first day of the Application period” will be eligible.

Further information on Application Qualification 1 (c) of the Global Liberal Arts Program:
(1) Those who completed, or expect to complete by March 31, 2025, a twelve-year school education curriculum outside Japan. Or, those who are designated as equivalent to these by the Minister of Education, Culture,Sports, Science and Technology.
(2) Those who completed, or expect to complete by March 31, 2025, a curriculum at an overseas educational institution authorized by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent to the curriculum of a senior high school in Japan.
(3) Persons who completed on or after a date specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or expect to complete by March 31, 2025, an advanced curriculum at a vocational school designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to curricula of three or more years in duration and satisfying other conditions specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology).
(4) Those who are designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
(5) Those who passed, or expect to pass by March 31, 2025, the Upper Secondary School Equivalency Examination pursuant to the Regulations on Upper Secondary School Equivalency Examinations (including the former University Entrance Qualification Examination).
(6) Those who entered a university pursuant to the provisions of paragraph 2 of Article 90 of the School Education Act, and judged by Rikkyo University to have the appropriate academic ability to undertake education at university level.
(7) Those who are recognized by Rikkyo University, or expect to be recognized by March 31, 2025, as having academic ability equivalent to a senior high school graduate, and attaining the age of 18 years by March 31, 2025.
*Those who graduated from a school other than “High school based on the Japanese school education system” must take “Eligibility check” before applying.

Selection Procedure

First round: Paper screening based on application documents	Second round: Short essay in English and interview examination
---	--

Application documents: Application form, Statement of purpose, Academic report*, certificates
*Senior high school graduates should submit a sealed transcript certified by their school principal. Applicants who have passed the Upper Secondary School Equivalency Examinations (or the former University Entrance Qualification Examination) should submit a certificate of passing grade or certificate of prospective passing grade.

The eligible applicants can submit their application through the admission by designated school recommendation. Applications for the admission to the GLAP cannot be submitted through the general entrance examination or National Center Test for University Admissions.

Academic Fees and Other Related Expenses

■Tuition: 1,900,000 yen annually ■Admission fee: 200,000 yen (charged only in the first year of enrollment)
■Study abroad costs: No tuition fees to be charged by host institutions
※Above information is tentative. Housing and living expenses as well as travel expense must be fully covered by students.
(about 1,500,000 yen-3,000,000 yen : The cost of studying abroad is subject to change due to the circumstances of our partner institutions or exchange rate fluctuations.)

Rikkyo University GLAP Scholarship (awarded prior to enrollment)

The scholarship, awarded prior to enrollment, is provided in the form of a grant to provide financial support purposes. Only students applying for admission in the Entrance Exam for International Courses (GLAP) are eligible to apply. The scholarship is designed to be awarded to applicants who may be experiencing significant financial hardship. The selection of the recipients is based on a review of each applicant’s household income status. The scholarship application must be submitted at the time of application of the Entrance Exam for International Courses (GLAP).

- Annual scholarship amount: 1.2 million yen per year
- Duration of payment: 4 years in principle (The annual review is conducted to determine the continuation of payment.)
- Number of recipients: Very limited

PEACE Program
(For Enrollment in April or September)


This is for international students.



 立教大学
RIKKYO UNIVERSITY
3-34-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-8501

■ Admissions Office (for inquiries regarding admissions)
: 03-3985-2660

■ Office for the Global Liberal Arts Program
: 03-3985-4612

<Rikkyo University website>


<GLAP website>


2025



Global Liberal Arts Program

グローバル・リベラルアーツ・プログラム



*Nurturing a new generation of
global leaders through liberal arts.*



**RIKKYO
UNIVERSITY**